

出典：CJC(シカゴ日本人会)、Wikipedia

## ◆ 荻野 敏雄 (おぎの としお / 1940.8.23～)

## 〈実業家 / CJC(シカゴ日本人会) 初代会長〉

昭和15(1940)年8月23日、新潟県中頸城郡妙高高原町(現妙高市)赤倉にて生誕。

同34(1959)年3月、新潟県立高田商業高等学校を卒業。高田(現上越市)南城町にあった商業高校へは信越本線田口(現妙高高原 / えちごトキめき鉄道)駅より、まだ蒸気機関車の煙や煤を吸いながら、汽車通生として通学。

高校では通学に時間がかかり、余り多くのことはできなかったが、それでも幼少期より赤倉で親しんできたスキーを、高田商高でもスキー部に入って継続。インターハイ、国体少年組、全日本選手権等多くのスキー競技会に出場。

高校卒業後は明治大学法学部法律学科に入学。当時の明治大はスキーの強豪大学で、高校に引き続きスキー部に入部。高校時代以上に各種大会に出場、オリンピック出場を目指すほどの文字通りスキー三昧の学生生活を送った。

昭和38(1963)年、大学を卒業し電子部品メーカーの河端セラミック工業㈱に入社。貿易部に配属され、同41年に米国駐在員として渡米。2年の駐在員生活を終えて昭和43年帰国。翌44年会社を辞め、結婚を機に再び夢を求めて渡米。

昭和44年米国イリノイ州 O'hare Metal Inc.(板金工場)に入社。ズブの素人からの仕事は苦労の連続で、同僚社員から差別的な嫌がらせにあいながらも、凶面引き・板金作業・溶接と、スキーで鍛えた体力・精神力で必死に努力し一通りの仕事を覚えた。

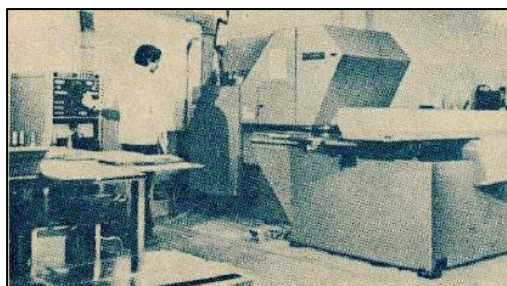
しかしながら会社は放漫経営で業績が悪化、倒産の危機に社長は逃げてしまったが、オーナーに見込まれ、General Manager に就き、業績回復に尽力した。

この間の努力と仕事の習熟、顧客からの信頼が次の独立・起業へと繋がった。

昭和49(1974)年 独立して板金鉄工会社 Exton Corp.(エクストン・メタルプロダクツ)を起業。シカゴのオヘア空港のネオンサインやニューヨーク地下鉄の自動改札機などを製作・販売。



O'hare Metal Inc.



Exton Corp. 社長当時

←工場で活躍 NCT 装置

平成5(1993)年、発起人の一員としてシカゴ日本人会(当時 MAJC : Mid America Japanese Club/アメリカ中西部日本人クラブ)創立。初代会長に就任。

シカゴには既に日本人移住者(含日系アメリカ人)・駐在員のための団体(シカゴ日本商工会議所)があったが、新しく米国に来た日本人(シカゴ在住の新一世)によるバックボーンとしての日系人団体の創設を必要としていた。

会員相互扶助と共に、お互いの情報交換、交流の場となることを目指した。



MAJC 創立発起人メンバー(前列中央:荻野会長)

平成8(1996)年に Exton Corp. を売却し、同10年に新たに Fine Points Inc を起業・設立した。

また、平成18年に文部省の任命により、金沢大学へ非常勤講師として7年間勤務した。

平成24(2012)年、シカゴ日本人会々長職を2年務めると同時に、シカゴ日米評議会副会長を務めた。

現在は全ての活動の責任ある立場から退き、晴耕雨読(耕:趣味)をモットーとして、静かに余生を楽しんでいる。趣味は、スキー、篠笛、テニス、家具製作、釣り、ゴルフ、緋鯉生産、陶芸、油絵 etc.。

商業高校で学んだ商業に関する知識は、社会人になって物事を経済的視点から見ること、経営者として企業会計に精通出来ることに繋がり、とても感謝の念を持っている。

<母校の後輩の皆さんへ>

国境の無くなった今、自己の得意なことまたは趣味を携えて、世界の舞台に積極的に出てみて下さい。そこには無限な可能性があります。応援致します。

## ◆ 経 歴

昭和15(1940)年 新潟県中頸城郡妙高高原町(現妙高市)赤倉にて生誕。

昭和34(1959)年 新潟県立高田商業高等学校卒業

昭和38(1963)年 明治大学法学部法律学科卒業、河端セラミック工業株(KCK Co.) 入社

昭和41(1966)年 河端セラミック工業株(KCK Co.) 米国駐在員として渡米(2年間)

昭和43(1968)年 日本に帰国

昭和44(1969)年 河端セラミック工業株KCK Co. 退社、結婚・脱サラ・脱日本、再び渡米  
米国 O'hare Metal Inc. 入社、5年間 General Manager 職を務める

昭和49(1974)年 Exton Corp.(エクストン・メタルプロダクツ)を起業

平成 5 (1993)年 シカゴ日本人会(当時 MAJC)を創立、初代会長就任(3年間在職)

平成 8 (1996)年 Exton Corp. 売却

平成10(1998)年 Fine Points Inc 設立

平成18(2006)年 金沢大学非常勤講師(文部省から拜命)就任(7年間在任)、Fine Points Inc 売却

平成24(2012)年 シカゴ日本人会々長就任(2年間在職)、シカゴ日米評議会副会長就任



## ◆ シカゴ日本人クラブ(CJC)／出典:シカゴ新報(非営利団体)

- 1991年……………シカゴ在住の新一世による日系人団体を創設するための「同志会」設立  
1993年3月………アメリカ中西部日本人クラブ(MAJC:Mid America Japanese Club)の名称で発足  
(75名の会員で活動開始 初代会長:荻野敏雄)  
2005年……………ジャパンフェスティバル会場をアーリントンハイツのフォレストビュー教育センターに移転  
1998年……………シカゴ日系人協会と正式に合併(ジャパンフェスティバルを引継ぐ)  
2013年……………MAJC はシカゴ日本人クラブ(CJC)に名称を変更  
(住宅の修繕やゴルフコンペ、ピクニック、カラオケイベント、パソコンサロン、交流会などの楽しいイベントなどを支援する「オタスケチーム」も運営)

### <シカゴ日本人会創立30周年祝賀会／2023. 11. 4>



CJC創立30周年記念祝賀会 荻野敏雄初代会長挨拶／シカゴ新報

シカゴ日本人会が創立30周年を迎え、11月4日に記念祝賀会を開催した。会場となったダブルツリー・ホテル・アーリントンハイツには来賓、創設メンバー、会員約100人が出席し、30年間の発展と社会貢献活動の成功を祝った。同祝賀会は副会長のジュレティック由紀氏の司会で始まり、30年の足跡をめぐるビデオ・プレゼンテーションも行われた。

シカゴ日本人会(Chicago Japanese Club - CJC)は、会員同士の相互援助と共に、文化交流、相互理解、教育促進などの社会貢献を通じて健全で豊かなコミュニティづくりに参加することをミッションとして活動を続けている。



司会:ジュレティック由紀副会長

#### < 荻野初代会長挨拶～部分～ >

荻野氏は「会員各位の参加と役員や理事のご奉仕とサポートで日本人会が本日まで30年間続いたのは、私達の決断が間違っていなかったという証だと思うんです」と述べ、「明日に向かい、若い新一世の参加を即して頂き、その方々にミッションを理解して頂き、その時代に沿った運営をして頂ければ、このシカゴ日本人会は不滅です！これからも続きます！よろしくお願ひします」と挨拶を結んだ。



◆ 写真アラカルト

明治大学時代



明治大学スキー部合宿

**明治** 2007 Vol.35  
The Quarterly Meiji

シリーズ  
明治大学の教育・特別対談・スポーツを通じた地域づくりと人づくり  
キャンパスNOW・アメリカのアブドゥラ首相へ明治大学を賞賛した学位を贈呈

明大サテライト校 会計学研究会 発刊 100周年向かへ  
明治大学の教育・特別対談・スポーツを通じた地域づくりと人づくり  
キャンパスNOW・アメリカのアブドゥラ首相へ明治大学を賞賛した学位を贈呈

この人に関く **落合恵子**さん  
作家・シネマ・イラストレーター

特集 **明治大学の入試改革**

駿台会(同窓会誌↑)に掲載された記事→

**私と明治大学**  
明治つながり

**荻野 敏雄**  
経営者としての  
1946年(昭和21年) 法学部法律科卒  
Exxon Mfg. Inc. 代表取締役社長  
Fire Photon Inc. CEO 社長  
\*現職の元日本人身業性理事  
\*元明治大学工学部講師

歩きました。たまたま知りあつた米国人の友人から、彼の会社の分野をマネージングしてみないかとの誘ひがあり、空想が成りあつたのが会社経営という夢の経験を得た機会をいただきました。

日本は敗戦国でワシントンと呼ばれ、戦後米国人から援助や経済支援されていた時代。会社のオプティミズムは、少しスナッチが上り、というだけのもので、シンを再た私は、そこが大変な試練を構まれることになる。ところが、日本経済の急激な発展と国力の増大を受け、海外にむけての立場も飛躍的に向上し、任され会社経営を安定成長させました。

そんなとき、銀行関係者や簿記のブライヤーが自分自身を立派にしてみたいとの誘ひがあり、またシンをくれば会社をスタートアップの理解と協力を得る、金融機関との関係を構築しました。当時は種々苦勞もりましたが、体育会系で鍛えられた精神力を、明大に見せて遺憾なく発揮出来ました。大手電機メーカーの海外営業から、地味な商社に、公共事業関係まで販路を拡大することができました。

ちょうど60歳になつたころ、体力の衰えを感じ、マラソンの練習を始めました。初年は30キロのランが、あつたために、長距離を用具もままに、荷物持ちの代物、戦う相手はかつてのライオン、活躍した交遊手や、因体労働を続け、きつた体力を、選手たばかりで始めたころは全く大敵でした。

しかし、今でも明大精神の持ちつ、負けず、気持よく出し、昔の若いライオンを思い出して、練習し、この数年、中西京地区では、最年長選手として、全日本大会でも上位入賞を続けています。

明治大学の学生選手は、大先輩の指導を受け、向上心を持って、自分の能力を、道に挑戦して、たまたま、必ずや成就するものを感じています。

文科執事兼紹介  
**川口 雄三**さん、株式会社シズメ代表取締役、愛知県豊橋市CO-タリー会長

2007 Master National Championship in BIG SKY MONTANA スキー-GC



# 金沢大学講師活動

平成18(2006)年

平成24(2012)年

キャリア教育講座  
(金沢大学/7年間)



金沢大学キャンパス



## スキー競技活動



2016年 National Master champion ship(全米マスター)大会/Bigsky モンタナ州  
滑降、GS、大回転、回転総合75歳～79歳クラス 4位



2024年全米マスタースキー選手権大会/ウィスコンシン州 回転・大回転・スーパー大回転各3位(総合3位)



マイホーム・趣味・DIY



我が家の賓客達









★ 我が家のリビング ★

洋風の装いの中にも

和のテイスト

天然木の椅子、無垢の一枚板

のテーブルを設えました

(DIY での自作)



故郷 妙高山(越後富士)の冬景色 (趣味の写真)





テーブル・椅子・天井照明 (DIY での自作)



郷里、錦秋の妙高高原 (趣味の油絵／リビング壁掲示)





趣味の篠笛で妻とハーモニー演奏

#### ◆ 参考サイト/URL

- シカゴ日本人会 : <https://www.facebook.com/ChicagoJapaneseClub/>
- シカゴ新報 : <https://www.chicagoshimpo.com/>
- PHORAM : <https://www.sumutoko.com/Base/Forum/read.php?15,105041>

